

しまかわ

学校だより 第7号

令和5年9月29日 北斗市立島川小学校

【学校教育目標】未来をひらき 心豊かに たくましく生きる力の育成

- ☆ 進んで学びつづける子
- ☆ 広い心で思いやる子
- ☆ たくましく生きる子



令和5年度 重点教育目標

明日も学びに向かう子

学校ホームページ <https://hokuto.ed.jp/shimasyo/> ⇒



『カイロス』を逃さない

校長 大山 真由美

先日、卓球のオリンピックメダリスト水谷準選手のお母さん、水谷万記子さんとお話する機会がありました。水谷選手は、両親が愛好していた卓球に興味をもち、幼いころから練習に励んでいたとのこと。そして、オリンピックに出場してメダルをとることが夢だったようです。子どもが追い求める夢の実現に向けて、両親も共に励んできたとのこと。

長い年月、繰り返し繰り返し思い、イメージが鮮明に描けて、そのためにポジティブに努力していると『カイロス』がめぐってくる。それを逃さないことが大切であると話していました。『カイロス』とは、ギリシア語で「チャンス」をしっかりととらえて逃さないという意味です。強い思いで努力している人には『カイロス』が現れる。それをその子が逃さないように親として支えてきたということでした。

夢の実現には、まず夢をもつことが必要です。

「夢」をもつのも、「きっかけ」が必ずあるはずですよ。

日々の生活の中で芽生えることもあるかもしれないし、何かに挑戦して、強く心が動かされることもあるでしょう。学校はその「きっかけ」を提供できる学びの場でありたいです。

本校の各学年の児童数は2～3人です。今後も児童数の増加は期待できないでしょう。今年度から5年生の宿泊研修は大野小学校の5年生と一緒に活動することになりました。次年度の修学旅行もその方向で進めています。これは学校としても、子どもたちにとっても、先生たちにとっても大きな挑戦です。

このほかに、子供たちは自ら挑戦しています。10月8日(日)の市民マラソン大会に7人がエントリーしています。プログラミングの北海道大会には夏休み中に学校で事前講習などをうけて頑張った4人がエントリーしています。

子どもたちが『カイロス』を逃さないように挑戦、夢をもつきっかけを応援していきたいです。

10月の主な予定 「早寝、早起き、朝ごはん！」

- 2(月) 草の根教育実習～10/6(金)
- 3(火) 放課後学習(1-2年)
- 4(水) 全校朝会 委員会活動
- 5(木) 避難訓練 スポーツクラブ
- 6(金) あゆみ配付 学習発表会特別時間割開始
放課後学習(3-6年)
- 7(土) 土曜授業「青少年育成大会」
- 8(日) 市民マラソン大会参加
- 9(月) スポーツの日
- 10(火) 4時間授業(給食あり)
- 11(水) 学習発表会係打合せ(6時間目)
- 12(木) 3年生社会科見学
- 13(金) 放課後学習(3-6年)
- 15(日) 渡P連研究大会(八雲大会)
- 18(水) 学習発表会総練習
- 20(金) 北斗市巡回展～10/26(木)
- 21(土) 学習発表会(11:40下校 給食なし)
- 23(月) 振替休業日
- 24(火) 放課後学習(1-2年)
- 25(水) 委員会活動
- 26(木) 1日防災学校～②避難訓練(地震),
③防災学習, ⑤学習参観,
放課後PTA研修(心肺蘇生訓練)
- 27(金) 放課後学習(3-6年)



大野小・島川小 合同の「宿泊研修」
(森町のネイバル森にて)



うーん、これは何する機械だろう？

秋の遠足 今年の秋の遠足はバス遠足。函館カーン・レイモン工場と函館空港の見学に行きました。工場ではレイモン・ソーセージが作られる様子やレイモンさんが使っていた頃の機械を、空港では飛行機の着陸の様子を見ることができました。

作った信号機を青黄赤と光らせるプログラムは…



プログラミング教育授業 島川小学校では、プログラミング教育に力を入れています。レゴのブロックで作った作品が自分の思い通りに動くよう、タブレット上でプログラミングする学習等にも取り組んでいます。9/22(金)には、市のICTプロジェクトの授業公開も本校で行われました。



きんちょうするなあ

お母さんって、大変だったんだ 高学年を対象とした「思春期教室」を9/6(水)に行いました。北斗市の保健師さんから、胎児の成長についてのお話を聞き、お腹の大きなお母さんの苦労を体感する妊婦体験や本物そっくりの人形で赤ちゃんを優しく世話する体験などを経験しました。「未来の妻の手助けをしたい。赤ちゃんのお世話をしたい」などの感想が聞かれました。

9月の島川小

野菜って、すごいんだね！ 野菜マルシェ

農業体験学習「島川野菜マルシェ」を9/14(木)開催しました。野菜ソムリエの齊藤さん、地元農家の高坂さん、栄養教諭の猪刈先生をお招きしてのパネルディスカッション『島川野菜サミット』、島川の子たちが自分たちの育てた野菜や以前収穫した野菜の写真カードを模擬販売する『野菜マルシェ』、夏休みに考えてきた自分たちが育てた野菜を使った料理レシピの紹介『野菜クッキング』など、様々な体験活動を行いました。子供たちは、「キャベツの栄養がわかった」「友達の考えた料理を作ってみたい」「SDGsにつながる調理法がわかった」など、これまで以上に野菜博士になれたようです。



いらっしゃい いらっしゃい！
おいしい野菜だよ！



野菜の達人たちのお話、
初めて知ることがいっぱい